



お寺の掲示板上には
住職前住職が「毎月」言葉を書いています。
通りがかりの人がメモをしたりしていますが
「意味を覚えてもらいたい」と、
たずねられることもあり、
この「お寺の掲示板」のコーナーで
お伝えしていきたいと思っております。

〈掲示月〉2025年(令和7年)9月

彼岸花 彼岸がくると 咲く不思議



お寺の 掲示板



9月は「お彼岸」、亡き人を偲び、
仏法に接するご縁の月です。
秋彼岸の頃になると、待ちかね
ていたかのように、彼岸花が一斉
に咲きます。
彼岸花を見る時、美智子上皇后
さまの次の短歌を思い出します。

彼岸花咲ける
間(あはひ)の道をゆく
行き極まれば
母に会ふらし

彼岸花は、その名の通り、彼岸
を連想させます。彼岸花の咲く道
はお浄土へと続く道、そのお浄土
は、先立っていった母上のおられ
るお浄土、娑婆のいのちを燃えつ
くし往生浄土するならば、お浄土
で会うことができるでしょう。

2011年、東海大学の産業工
学部が、学生約1000人に「天
文調査」を実施しました。
設問のひとつに「太陽が沈む方

角を答えてください」1東、2
西、3南、4北の4択です。
結果を見て驚きました。4人に
1人が、太陽の沈む方角を西と答
えることができなかつたのです。
自然に興味がないのでしょうか。

古来より、太陽の沈む「西」は、
私のいのちの帰る方向とされて
いました。「西」の字、口は鳥の巢
を表し、πは鳥が羽を、足を畳ん
でいる象形、即ち、安心して休む
姿が西の字の成り立ちです。

太陽が真東から登り、真西に沈
む秋分の日、西方浄土、「この世の
縁が尽きる時、浄土に生まれて仏
となる」私のいのちの往くさを
味わっています。

父母もはらからも
居(ま)す彼の国へ
われも往くなり
遠からずして

(甲斐和里子)

永代経法要

永代経法要、無事勤修させていただきました。聴聞くださったみなさま有難うございました。
また、ご加勢くださった受付世話人の皆様、婦人会の皆様には厚く御礼申し上げます。

16日から18日の3日間、三浦真証先生が急病のため、

門司：善浄寺の富来賢隆先生にご出講賜りました。

ご自身の体験を通して阿弥陀様の教えをお取次ぎくださいました。

『永代経』とはお経の名前ではなく「永代読経」の略です。

永代に渡りお経が読まれ続けるようにという願いのもと行われる法要です。

先人のご苦勞により過去から受け継がれてきた教えを

未来へと伝えていく決意をあらたにする意味もあります。

永照寺開基以来変わることなく読み続けたお経があります。

それは、浄土三部経『仏説無量寿経』『仏説観無量寿経』『仏説阿弥陀経』です。

「お経はどれも同じですか」「どのお経を読んでもいいのですか」ときとき受ける質問です。

どのお経もお釈迦様のお言葉ですから、大切にしなければなりません。

しかし、心臓病の方が胃薬を飲んででも快方に向かわないように

この時代、この私が救われていくお経は浄土三部経です。

今回の法座は1月14日～16日年頭初参会です。どうぞお参りくださいませ。

10月の行事予定

6日(月) コールカンタカ 14時 永照寺本堂

16日(木) 宗祖命日 7時 永照寺本堂

18日(土) 婦人会例会 12時 永照寺門徒会館

お知らせ

- お経本は床に置かないでください
- 毎月16日は親鸞聖人命日(あおさじ)にお参りください。
- 住所が変更する場合は、恐れ入りますがお寺に届けてください。
- 最近では法事が土曜・日曜に集中しますので、早めに連絡頂ければ助かります。(特にお寺で法事をする場合)

永照寺

【開門・閉門の時間】

- 開門…6時30分
- 閉門…18時



行事予定やお参り・法要などの連絡事項は「ホームページ」にて随時更新しています。 離れて暮らすご家族にもおススメください。

ホームページに関してのご意見、ご希望、メールをお待ちしています。

<https://www.eishouji.or.jp/>

北九州 永照寺 🔍 検索



永照寺:住職のブログ【凡愚庵(ぼんぐあん)】も
合わせてご覧いただければ幸いです。
左記のホームページ内に移転しました。



モバイルは
このマークをカメラで
読み込んでください。